

# 佳作 (全国応募)



京都府立北嵯峨高等学校 1年  
宮島 かなえ ●



京都府立北嵯峨高等学校 1年  
山口 恵麗奈 ●



京都先端科学大学附属高等学校 2年  
志田 妙重 ●

# 令和5年度 緑化運動 ポスターコンクール 入賞作品集

## 応募状況

参加総数	審査作品数	入選点数
121校(4,013人)	875点	200点

### 【募集概要】

●応募資格  
京都府内の小・中・高等学校・特別支援学校に在学中の児童、生徒

●募集期間  
令和5年5月8日から6月5日まで

●応募方法  
各学校は全参加作品から優秀なもの  
10点以内を選び、京都府あて提出

●作品規格  
B3判(たて51cm、よこ36cm)を原則とし、必ずタテ書き文字は  
入れないこと

●全国コンクールへの応募  
優秀な作品(小学校等6点、中学校等4点、高等学校等4点)を  
(公社)国土緑化推進機構主催の全国コンクールに応募  
(氏名の右肩に●印のある作品が全国応募作品です)



### ●京都府内の応募点数及び入選点数

学年	小学校等	中学校等	高等学校等
1	44 (1)	58 (4)	11 (5)
	11 (1)	13 (1)	4 (2)
2	54 (10)	70 (3)	9 (1)
	11 (1)	15 (0)	2 (0)
3	85 (5)	63 (5)	9 (3)
	19 (1)	13 (0)	2 (1)
4	92 (5)		
	21 (1)		
5	227 (3)		
	52 (1)		
6	153 (5)		
	37 (3)		
計	655 (29)	191 (12)	29 (9)
	151 (8)	41 (1)	8 (3)

応募総数：875 審査数：875 入選数：200  
※上段：応募点数、下段：入選点数  
※( )内は、特別支援学校の小等部、中等部、高等部等の内数  
※小学校等、中学校等の数字には、義務教育学校の数を含む  
※応募点数には作品規格外も含む



### 緑の募金運動にご協力ください

「緑の募金」は、荒廃した森林を蘇らせることを目的に昭和25年「緑の羽根募金」運動として始まりました。京都府では、「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、公益社団法人京都モデルフォレスト協会を京都府緑化推進委員会として指定し、緑の募金運動に取り組んでいます。  
緑化運動ポスターコンクールは、この緑の募金運動の一環として、次世代を担う青少年に緑の大切さを伝えることを目的に、京都府と公益社団法人京都モデルフォレスト協会との共催で実施しています。

### 〈制作〉

京都府農林水産部森の保全推進課  
TEL 075-414-5014 FAX 075-414-5010

公益社団法人京都モデルフォレスト協会  
TEL・FAX 075-823-0170



〈主催〉 ●京都府 ●公益社団法人京都モデルフォレスト協会  
〈後援〉 ●京都府教育委員会 ●京都市教育委員会 ●京都府市長会 ●京都府町村会

## 令和5年度 緑化運動ポスターコンクール

### 審査講評

皆さんの身の回りにはどのような「緑」がありますか？季節によって姿を変える山々、虫捕りに行ったことがある森や林、街を彩る木々、校舎の壁を飾るグリーンカーテン…。葉の間からこぼれる木漏れ日の美しさや色彩の豊かさに目を細めたり、幹のごつごつとした感じや葉の柔らかな感じを手触りで感じ取ったり、木陰の涼しさでリフレッシュしたりする瞬間もあるでしょう。自然の中では、様々な生き物が関わり合いながら生きています。その中で「緑」は、美しい空気や水などの多くの恵みを私たちに与えてくれると共に、生命と生命、心と心を豊かにつなぐ役目をしてくれているのです。

今年度は、小学校650点、中学校186点、高等学校20点、特別支援学校19点の計875点の多くの作品が寄せられました。

小学校低学年の作品は、パスやコンテ、絵の具などの親しみのある画材を中心に、自然との触れ合いを通して感じたことや想像したことがのびやかに描かれていました。指先を使ってパスをのぼしたり、手のひらでスタンプをしたりしながら表す工夫も見られ、全身で材料や用具と関わりながら描くことを楽しむ様子を感じ取れました。

小学校中学年では、水彩絵の具を用いて、水の量や色の混ぜ方、筆づかいを工夫しながら表現した作品が多く見られました。同じ「緑」であっても「あたたかな緑」や「やわらかな緑」など様々な感じがあることに気づき、自分の表したいイメージを大切に、様々な木の表情を描き分けていました。

小学校高学年の作品からは、表したいことに合わせて画材を巧みに扱いながら描く、表現力の高まりが感じられると共に、伝えたいことはどのように表せばよいかを考えて画面構成しながら描いている様子が伺えました。感じ取った自然の美しさや恵みを、未来にも伝え残したいという思いが表現され、視野や感じ方の広がりを見ることができました。

中学生の作品からは、さらに自分自身の主題を明確にしなが、形や色彩の効果的な生かし方を考えて描く様子が伺えました。発想したことを基に授業で培った技能を十分に発揮しながら、創造性豊かな作品を生み出していました。

高校生からは、より独創的な切り口で、効果的に表現技法を用いた魅力的な作品が寄せられました。要素を絞ることで視覚効果を高めたデザイン性が高い作品が多くあり、主題に迫るアプローチに個性が見られました。

特別支援学級の作品は、一人一人が感性を働かせて捉えた「緑」が、表情豊かに生き生きと表現されていました。思い切りのよい線や目をひく色使いなど、心を弾ませながら描く姿が目に見えられました。

「『緑』を自分たちの手で守りたい」という思いや願いがたくましい根幹となり、「こんな風に表したい」という一人一人の工夫によってさまざまな葉となり、素敵なポスターになりました。ポスターから溢れ出るエネルギーが、観る人の心に響き、「緑」との関わりを見つめ直し、未来を創り出す力になることを願っています。

審査委員

## 最優秀賞



亀岡市立亀岡川東学園 3年

中川 いず美 ●

# 最優秀賞



京都市立上京中学校 3年  
**小林 亜香里 ●**

# 優秀賞



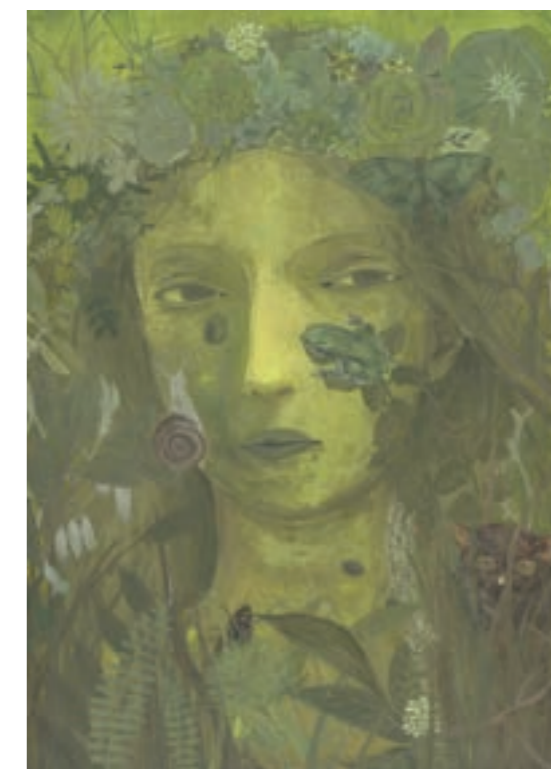
舞鶴市立吉原小学校 3年  
**谷口 颯希 ●**



亀岡市立南つつじヶ丘小学校 6年  
**畑 龍之介 ●**



久御山町立久御山中学校 2年  
**石川 尚哉 ●**



京都先端科学大学附属高等学校 2年  
**上嶋 いろは ●**

# 奨励賞



京都府教育長賞  
 亀岡市立吉川小学校 3年  
**上田 悠翔**



京都府教育長賞  
 八幡市立男山第二中学校 2年  
**四方 真帆** ●



京都市教育長賞  
 京都市立上高野小学校 5年  
**新宮 涉利** ●



京都市教育長賞  
 京都市立藤森中学校 2年  
**正木 俊成** ●



京都モデルフォレスト協会理事長賞  
 亀岡市立大井小学校 2年  
**下岡 美也** ●



京都モデルフォレスト協会理事長賞  
 京田辺市立三山木小学校 6年  
**谷田 一真** ●



# 努力賞



南丹市立園部小学校 1年  
**篠原 衣千**



亀岡市立吉川小学校 4年  
**松尾 哲史**



福知山市立上豊富小学校 5年  
**岩城 陽斗**



福知山市立上豊富小学校 5年  
**高杉 蒼祐**



福知山市立上豊富小学校 5年  
**牧野 拳虎**



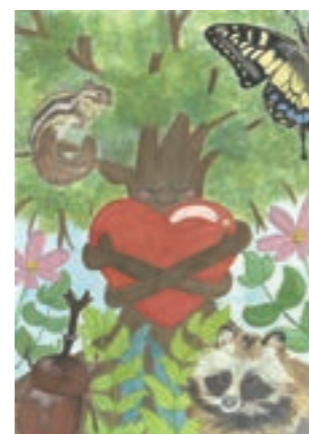
福知山市立大正小学校 6年  
**塩見 凰太**



京都先端科学大学附属中学校 1年  
**山端 芯玖朗**



与謝野町宮津中学校組合立橋立中学校 2年  
**糸井 彩華**



京都市立大宅中学校 2年  
**佐藤 桃菜**



福知山市立六人部中学校 3年  
**相根 あき菜**